

令和5年度社会福祉法人静香会事業報告

○静香会

1. 外部・内部の課題に対する取組結果

(1) 外部の課題

①環境の変動に応じた財務状況の適切な把握

- ・新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日に5類に移行したことを受け、各施設とも新たな方法や手段を取り入れながら外出やイベント行事等を徐々に開催していき、たいへん活気のある1年となった。
- ・同時に、福祉現場特に入所施設では新型コロナウイルスやインフルエンザのクラスター発生に対する危機感があったため、感染症対策を継続して実施していたが、悠雲寮入所施設で2/29より新型コロナウイルスのクラスターが発生し、4/4無事終息した。感染者は41名。
- ・年々多様化する障害福祉へのニーズ、進行する物価高、人材不足、賃金の上昇などに対応するため、経営戦略・財務分析等の研修会や情報交換会に積極的に参加した。それらの情報を共有し、管理者及び経理・労務事務担当者が会計資料等を基に定期的に会議を開催し、財政状況の適切な把握に努めた。
- ・令和5年10月より始まったインボイス制度に対応し、適格請求書発行事業所の登録を完了し、ほほえみ&みのり工房が適切に実施している。

②地域共生社会の実現に向けた取組の推進

- ・地域共生社会の実現に向け、地域の生活課題や福祉ニーズの把握に努め、高い専門性を持って、法人全体で継続して積極的に関わった。
- ・令和5年度より「障害者のための基幹相談支援センター業務」を長泉町より委託を受け実施した。業務のひとつである長泉町障害者自立支援協議会の運営には特に力を入れて取組み、地域の事業者同士の連携を強化することができた。

(2) 内部の課題

①サービスの質の向上

- ・福祉サービス利用者・家族の声を聴き、ISOシステムに則り、各施設で継続的にサービスの質、満足度の向上に取り組んだ。
- ・災害や感染症のまん延などの緊急事態に備え、利用者・職員等の生命と安全を守るため、常に事業継続計画を見直し・訓練を実施した。また令和6年1月1日に発生した能登半島地震における障害者施設に関する課題などの情報を集め、計画の再検討をした。
- ・虐待防止委員会の立ち上げや虐待研修の実施など、自分たちの支援や保

育を検証するための取組みを強化した。

② 人材の育成

- ・ 法人理念や方針、法人が期待する職員像、施設が目指すべき方向、達成したい目標等について、職員がより理解を深められるよう、会議や面談等で説明を重ねた。
- ・ 静香会キャリアパス基準書に基づき、職員それぞれの職務等級に求められる職責や能力を獲得するため、会議や研修を利用し教育を実施した。また経営会議等で財務管理能力の向上に努めた。

③ 創立35周年記念事業

- ・ 4/1、児童発達支援センター「ススミダス」開園
- ・ 法人各施設で記念行事を実施した
10/15（日）悠雲寮では長泉町福祉健康祭りで記念絵画展を開催
10/31（火）ほほえみ&みのり工房では餅つき等の交流イベントを開催
1/12（金）このはな保育園では創作紙芝居やカレー作りによる感謝イベントを開催

2. 令和5年度の目標に対する取組

(1) 支援に関すること

- ・ 5/8 新型コロナ5類へ移行を受け各施設で制限等の見直しを行い、新たな方法や手段を取り入れながら、安全・安心に配慮しつつ質の高いサービスの提供を維持した。
- ・ 保護者との連携を密にし、利用者・園児へのより良い支援・保育のための情報を共有し満足度の向上へ繋げた。

(2) 人材に関すること

- ・ 人事評価制度の内容について全職員に説明を重ねるとともに、職員一人ひとりの個人目標達成に向けての助言や指導を行った。
- ・ 外部研修には、多くの職員が受講できるよう努めた。
- ・ 法人内研修を充実させ職員の資質向上に努めた。

【研修】

施設名	外部研修		法人内・施設内研修
	講座数	延べ人数	講座数
悠雲寮	82件	113名	30件
悠雲の家 アネックス悠雲の家	8件	8名	10件
ゆううん	23件	37名	21件
ほほえみ& みのり工房	8件	18名	14件
このはな保育園	28件	32名	3件
ススミダス	11件	12名	17件
本部	9件	9名	12件
合計	169件	229名	107件

※主な研修内容

外部研修

新型コロナ等感染症対策、事業者説明会、運営管理、会計経理、BCP、第三者評価、権利擁護、防災・災害対策、就労支援、インボイス、精神保健業務、サービス管理責任者、相談支援従事者虐待、食品衛生、医療児等支援、高次脳機能障害、食育推進、保育士キャリアアップ、静岡県保育連合会・全国私立保育連盟・日本保育協会の研修等

法人内施設内研修

外部研修報告、新型コロナ等感染症、防災対策、虐待、権利擁護、AED、嘔吐物対応、利用者支援、身体拘束等の適正化、連携のあり方、不適切保育、ハラスメント、安全管理 等

【職員の採用及び退職】

(令和 5. 4. 1～令和 6. 3. 31)

施設名	採用		退職	
	正規	非正規	正規	非正規
悠雲寮	0	2	4	2
ゆううん	0	0	0	0
悠雲の家・アネックス悠雲の家	0	0	0	0
ほほえみ&みのり工房	0	2	1	3
このはな保育園	1	1	1	1
ススミダス	3	4	1	1
法人本部	0	0	0	0
合計	4	9	7	7
	13		14	

【職員人数】

施設名	令和4年3月31日	令和5年3月31日	令和6年3月31日
悠雲寮	37	36	35
ゆううん	6	7	6
悠雲の家・アネックス悠雲の家	2	2	2
ほほえみ&みのり工	15	15	11
このはな保育園	24	29	22
ススミダス			12
法人本部	5	5	2
合計	89	94	90

【時間外勤務実績時間数】（令和 5. 4. 1～令和 6. 3. 31）

施設名	職員数 (月平均) 管理職除く	令和 5 年度 延時間数	月平均 延時間数	月平均 一人当時間 数	主な理由
悠雲寮	34.3	172.45	14.4	0.42	利用者対応 感染症対応 事務業務
悠雲の家 アネックス悠雲の家	2.0	6.0	0.5	0.25	業務補助 感染症対応
ゆううん	6.0	116.25	9.7	1.6	協議会・研修会準備 利用者対応・計画作成
ほほえみ& みのり工房	10.75	24.0	2.0	0.19	作業補助・新年度準備 イベント準備
このはな保育園	21.1	116.5	9.7	0.44	土曜保育・保護者対応 書類作成
ススミダス	11.75	434.7	36.22	3.08	活動準備・活動記録作 成・支援計画作成

【有給休暇取得率】

施設名	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
悠雲寮	74.7%	85.42%	67.80%
悠雲の家・ アネックス悠雲の家	69.7%	92.13%	89.58%
ゆううん	73.5%	90.70%	70.20%
ほほえみ& みのり工房	60.1%	83.52%	56.45%
このはな保育園	75.3%	86.66%	64.73%
ススミダス			84.57%
本部	96.6%	108.13%	104.69%

※ 厚生労働省「年次有給休暇の計算方法」より

$$\text{取得率} = \frac{\text{当年の取得日数（前年繰り越し分を含む）}}{\text{当年の付与日数}}$$

(3) 地域に関する事

地域における公益的な取り組みの強化

【地域における公益的な取組】

- ①地域の要支援者に対する相談支援
- ②地域の要支援者に対する配食見守り移動等の生活支援
- ③地域の要支援者に対する権利擁護支援
- ④地域の要支援者に対する資金や物資の貸付・提供
- ⑤既存事業の利用料の減額・免除
- ⑥地域の福祉ニーズ等を把握するためのサロン活動
- ⑦地域住人に対する福祉教育
- ⑧地域の関係者とのネットワークづくり
- ⑨その他

施設名	地域における公益的な取り組み実施件数									
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	計
悠雲寮	0	0	3	0	0	0	8	12	1	24
悠雲の家・アネックス悠雲の家	0	0	0	0	0	0	0	6	11	17
ゆううん	6	0	0	0	0	0	0	8	0	14
ほほえみ&みのり工房	1	1	1	0	0	0	20	24	6	53
このはな保育園	0	0	0	0	0	0	0	6	15	21
ススミダス	0	0	0	0	0	0	2	7	22	31
合計	7	1	4	0	0	0	31	63	56	161

(4) 経営管理に関すること

①毎月行う経営会議において、各施設・事業の経営状況を把握分析するとともに法人全体の財政状況を確認し、対策を講じた。

各施設・事業の経費節減を図るため、光熱水費や日用品等の管理・節約に努めると共に、委託業務・リース等の契約内容の検討・見直しを行った。

②事業継続への備え

・施設の事業継続計画に従い、訓練・検証・見直しを行った。

・障害者施設のケース記録について、クラウド方式に転換するための準備を進めた。

3. 定例事業

(1) 理事会の開催

① 第1回 令和5年6月6日(火)

報告事項

第1号報告 理事長職務執行状況

第2号報告 ほほえみ&みのり工房の車両購入

審議事項

第1号議案 令和4年度社会福祉法人静香会事業報告

第2号議案 令和4年度社会福祉法人静香会各会計決算報告
及び監査報告

第3号議案 社会福祉法人静香会社会福祉充実計画の終了

第4号議案 令和5年度社会福祉法人静香会各会計第1次補正予算

第5号議案 定時評議員会の招集

第6号議案 理事・監事候補者の推薦

② 第2回 令和5年6月22日(木)

審議事項

第1号議案 理事長の選定

③ 第3回 令和5年9月15日(金) 決議の省略

提案事項 社会福祉法人静香会規程類改正

④ 第4回 令和5年11月16日(木)

報告事項

第1号報告 理事長職務執行状況

審議事項

第1号議案 令和5年度社会福祉法人静香会各会計第2次補正予算

第2号議案 自動車保険契約の締結

第3号議案 県による指導監査の実施結果

⑤ 第5回 令和6年3月27日(水)

報告事項

第1号報告 理事長職務執行状況

第2号報告 自動車保険契約

審議事項

第1号議案 令和5年度社会福祉法人静香会各会計第3次補正予算
及び積立金の作成

第2号議案 社会福祉法人静香会規程類の制定及び改正

第3号議案 令和6年度社会福祉法人静香会事業計画

第4号議案 令和6年度社会福祉法人静香会各会計収支予算

第5号議案 各種契約の締結

第6号議案 第三者委員の選任

第7号議案 県による指導監査の実施結果及び是正・改善計画

(2) 評議員会の開催

① 第1回 令和5年6月22日(木)

審議事項

第1号議案 令和4年度社会福祉法人静香会事業報告

第2号議案 令和4年度社会福祉法人静香会各会計決算報告
及び監事監査報告

第3号議案 社会福祉法人静香会社会福祉充実計画の終了

第4号議案 理事・監事の選任

(3) 監事監査

① 中間会計監査

令和6年11月16日(木) 悠雲寮応接室

令和6年3月27日(水) 悠雲寮応接室

森本監事・杉山監事

② 令和5年度事業及び収支決算監査

令和6年5月24日(金) 悠雲寮応接室

森本監事・杉山監事

(4) 苦情対応第三者委員会

① 令和5年6月22日(木)

② 令和5年12月12日(火)

(5) 県による指導監査

① 令和5年7月19日(水)

このはな保育園 私营保育所等指導監査

指摘事項・指導事項なし

② 令和5年11月21日(火)

社会福祉法人指導監査

文書指摘事項6件、口頭指摘事項8件、助言事項1件

(6) ISO9001

① 内部監査

悠雲寮・・令和5年9/22、9/26、11/15、11/22、11/30、12/12、12/14

令和6年1/18

計8回

悠雲の家・・令和5年8/21

計1回

ゆううん・・令和5年12/12

計1回

ほほえみ&みのり工房・・令和5年8/28、6年2/27

計2回

このはな保育園・・令和5年7/25、9/15、11/10

計3回

② 外部監査（定期監査）

令和5年7月5・6日

監査機関：ビジネス・アシュアランス・ジャパン(株) 塩谷健吾監査員

③ 更新審査

令和5年12月4・5・6日

審査機関：ビジネス・アシュアランス・ジャパン(株) 塩谷健吾審査員

(7) 職員の健康管理

- ① ストレスチェック制度を整備し、全職員にストレスチェックを実施した。(9月)
- ② インフルエンザ予防接種を全職員に実施した。(12月)
- ③ 定期健康診断を実施した。(夜勤のある職員は年2回、その他職員は年1回)

【定期健康診断検査結果】

総合判定	区分	令和4年度	令和5年度	内 容
A	異常なし	4	2	
B	軽度異常 問題なし	12	11	
C	要経過観察	47	39	体重（肥満・痩せ過ぎ） 腰椎変形 食事（尿酸値・高脂血症・肝機能）
D	要治療 要精密検査	15	21	脂質異常・高血圧・尿潜血・便潜血 腰椎変形・貧血・視力低下・肝機能 胃 X-P 所見
E	治療中	14	12	高血圧・糖尿病・高脂血症
計		92名	85名	

(8) 内部・外部コミュニケーション

【内部】

内 容	実 施 計 画	実 施 日	延べ回数
①管理職会議	月 1 回	4/19、5/25、6/20、7/21、9/12、10/20、12/15、1/23、2/21、3/19	10 回
②経営会議	月 1 回	5/19、7/14、9/19、10/19、1/22、3/6	6 回
③業務日誌	開所日	①の報告、人事関係、HP更新、防災関係、職員親睦会、労務関係、インフルエンザ情報、新型コロナウイルス情報、不審者情報等	随時

【外部】

内 容	実 施 計 画	実 施 日	延べ回数
①行政機関との話し合い	随時	4/20、11/13、1/17	3 回
②公認会計士による指導・相談	月 1 回	4/25、5/17、6/20、7/27、8/1、8/31、12/12	7 回
③社会保険労務士による指導・相談	月 1 回	4/13、5/11、6/8、7/13、8/10、9/14、10/12、11/9、12/14、1/11、2/8、3/14	12 回

(9) 広報誌「悠雲」

4月、7月、10月、1月 計4回、毎回900部発行
HPに掲載

(10) ホームページ・ブログ等の更新

①ホームページ・・・4/1、7/1、10/1、1/1 計4回更新

更新内容：理事長挨拶、事業報告・決算報告等情報公開

事業計画・収支予算、障害福祉サービス等処遇改善計画書

苦情対応・報告、広報誌「悠雲」、フェイスブックへのリンク

商品案内等

②ブログ・・・悠雲寮 週1～3回

ほほえみ&みのり工房 週2回更新

このはな保育園 月1回更新

③Instagram、フェイスブック・・・随時更新

○悠雲寮

1. 令和5年度目標

(1) 支援に関すること

① 多くの利用者が楽しみにしている外出が定期的に行えるよう、計画的に検討していく。

- ・利用者満足度アンケートをもとに、利用者にさらに意見を聞き実施。
- ・感染対策を万全にして行った。

【主な外出】

5月19日	富士花鳥園・富士山世界遺産センター
5月19日	清水港で豪華海鮮丼
6月16日	韮山反射炉・柏谷公園
6月16日	ららぽーと沼津
7月9日	南一色夏祭り
9月14日	サントムーン柿田川でボウリング大会
9月15日	御殿場高原時の栖バイキング
9月26日	ながいずみ美術展
9月28日	エスパルスドリームプラザ
10月15日	長泉町福祉健康まつり
11月10日	御殿場高原時の栖バイキング&イルミネーション
11月24日	エスパルスドリームプラザ
11月26日	わかふじスポーツ大会

② 虐待のない安全な場所で安心して生活していただくために、虐待防止委員会、虐待防止会議、各棟の会議を有効なものにするほか、研修を重ね虐待防止に努める。

- ・毎月、法人内障害者虐待防止委員会を実施した。委員会では、各事業所の報告、情報共有、課題検討などを行った。
- ・毎月、各棟で虐待防止会議を実施した。虐待防止委員会の報告、不安や困っている事などについて意見交換したほか、研修を実施した。
- ・事業所内での虐待や身体拘束はなかったが、不適切な支援が1件あり、すぐに事業所内で会議を開き、改善を図った。

③ 利用者の自治会活動『しゃくなげの会』にて喫茶のメニューの希望を吸い上げ、利用者の希望を叶える。

- ・2ヶ月に1回は利用者自治会を開催した。
- ・自治会では、要望の反映状況を職員から利用者に報告。希望が取り入れられている事が伝わるようにした。
- ・多くの希望を吸い上げるために、写真、イラスト、雑誌、フリガナ付きの資料などを用意したほか、うまく意見を伝えられない利用者の近くに職員を配置し、少しでも意見を伝えやすくしたり、意思表示しやすい環境を作った。
- ・月1回の喫茶の日には、事前に目立つポスターを掲示した。

- ④ 入所利用者の衛生確認及び口腔内確認を実施することで、利用者が快適に生活できるようにする。
- ・年1回の歯科検診を実施し、歯科医が全利用者の口腔内を確認した。
 - ・毎月、担当職員による衛生チェックを実施したほか、カラーテスターを実施し、ブラッシングできている歯やできていない歯を利用者と一緒に確認した。
 - ・毎食後の歯磨きでは、口腔内に変化や気になる事があった場合は記録に残し、引継ぎを行い、状態によって歯科通院に繋げた。
 - ・職員による対応が難しい場合は、看護師に相談したり通院する事で、状態の悪化を防ぐようにした。

(2) 人材に関すること

- ① 新人職員や経験年数の少ない職員に対して、担当職員を配置し教育していく。
- ・担当職員を配置し、配置職員が不在の日でも該当職員が困らないように、教育状況がわかるチェック表を掲示した。
 - ・達成目標に対して達成時期が遅れないよう、月1回は担当職員は配置先の統括や上司に報告し、状況によっては指示やアドバイスを受けた。
- ② 研修によっては参加希望を募る事で、研修に対する意識を高める。研修で得た事は内部研修の場を設け、多くの職員の研さんに繋がるようにする。
- ・職員に、受講したい研修名や研修のジャンルについて意向を確認。
 - ・様々な研修の回覧物以外に、自分で研修の情報を得て受講を希望した場合でも受講できるため、積極的に申し出てもらうよう呼び掛けた。
 - ・内部研修では、会議内で時間を設け、研修の場を用意した。会議を欠席した職員には別の日に研修の場を設けて、研修が無駄にならないようにした。
- ③ 新たな職員へ医務に関する教育、及び既存の職員へ教育の再確認を実施し、職員スキルアップにつなげる。
- ・新人職員への教育、塗り薬や飲み薬に関する認識確認、頓服のタイミングなど基本的な事から特定の利用者に関する事まで教育や確認を実施した。
 - ・通院に関して、協力医療機関や付き添い費の説明、薬局に薬を依頼する際に必要なことなどの説明をした。

外部研修・内部研修

- ・外部研修は、資格取得や更新に関する研修、障害の特性や高齢化に関する研修、防災や災害に関する研修、日々の支援に反映させるスキルアップや意識改善に関する研修、看護師や医療に関する研修、栄養士や給食に関する研修、会計や経理などに関する研修など、82件の研修を受講した。
- ・内部研修は、虐待や権利擁護、災害や感染症、日々の支援に反映させるものなど、多くの内容で実施した。

【内部研修】

4月25日	感染症対策委員会について
	「障害者虐待防止」への取り組み規程の説明 虐待防止委員会の役割
	医務関係(衛生チェック・嚥下・通院対応等)
	医務関係新人教育
	防災関係新人教育
5月30日	運動と健康・栄養管理と健康について
6月27日	白癬について
7月25日	高齢者・障害者施設のための感染症講座
	虐待防止の理解
	成年後見制度について
8月29日	権利擁護について
	障害のある人を支援する防災研修
9月27日	手指衛生・消毒について
	血液による感染・対策について
	日々の支援の振り返り(職員セルフチェックリストの実施・集計)
	権利擁護について
10月12日	テント設営
10月17日	災害用トイレの組み立て
10月30日	風邪予防・インフルエンザ・ノロウイルスについて
	行動制限や身体拘束の解消に向けての支援
	介護職が「働きたい」と思える職場の作り方
	利用者の嗜好調査について
11月28日	高齢者の転倒予防
	利用者の施行調査について
12月26日	吐しゃ物の処理・対応について
	外用薬について
1月23日	障害者差別解消法について
	手指衛生・消毒について
2月27日	認知症または認知症の疑いのある障害者への支援と課題について

(3) 地域に関すること

① 悠雲寮が開所して35年を迎えるため、地域の方々に法人設立35周年を迎える事を知っていただけるように絵画展を開催する。

- ・10月15日、第35回長泉町福祉健康まつり会場内の一室をお借りし『静香会35周年記念絵画展』を開催した。
- ・会場では、今までの絵画活動で完成させた個人作品や、絵画展用に利用者が完成させた大きな作品を展示した。

(4) 経営に関すること

① コスト削減を実施するため、無駄な部分を省いていけるよう、毎月開催される各会議で傾向や対策を確認する。

- ・毎月開催された会議で、前年度と今年度の光熱水費を比較した。エアコンや床暖房の使用状況の確認し、取り入れられそうな対策を取り入れてコスト削減に努めた。
- ・コピー用紙の削減を図るため、会議ではパソコンを共有し、配布資料を必要最低限とした。
- ・物品の購入時は、在庫状況に合わせた数量となるよう確認を充分にした。

② 災害時でも事業が継続できるように、実践的な訓練を実施し、事業継続計画の見直しをする。また、感染症対策も万全にして、感染症対策委員会を設置し、感染拡大防止及び事業継続のための体制を整備する。

- ・法人内障害者防災委員会を隔月、法人内障害者感染症対策委員会を毎月実施。
- ・障害者事業所全体の課題確認、各事業所の課題解決に向けた話し合い、情報共有、内部研修の実施状況の確認、事業継続計画の見直しを進めた。

【防災訓練】

4月	新人教育・火災想定避難訓練・災害用伝言ダイヤル171訓練 スラック送受信
5月	地震想定避難訓練・炊き出し訓練・災害用伝言ダイヤル171訓練 スラック送受信
6月	夜間想定避難訓練・防災倉庫点検・災害用伝言ダイヤル171訓練 スラック送受信
7月	消火放水訓練・火災想定避難訓練消火訓練・災害用伝言ダイヤル 171訓練・スラック送受信
8月	長泉町総合防災訓練(南一色)・地震想定防災訓練
9月	起震車体験・災害用伝言ダイヤル171訓練・スラック送受信
10月	障害者事業所避難訓練(事業継続計画)・災害用伝言ダイヤル171訓練 スラック送受信
11月	火災想定避難訓練・災害用伝言ダイヤル171訓練・スラック送受信
12月	災害用伝言ダイヤル171訓練・スラック送受信
1月	火災想定避難訓練・防災倉庫と非常時備蓄品確認・災害用伝言ダイヤル 171訓練・スラック送受信
2月	災害用伝言ダイヤル171訓練・スラック送受信
3月	火災想定避難訓練・災害用伝言ダイヤル171訓練

③ 利用率アップ

開所日・利用人数

(ア) 施設入所

- ・定員 50 名に対して、男性 29 名、女性 23 名が利用中。
- ・新規利用者 2 名、退所利用者 2 名。

(イ) 生活介護

- ・開所日数は月の日数マイナス 8 日で開所した。
- ・感染症への感染が確認された際には、体調や流行状況を確認し、開所を続けた。

【生活介護利用者延べ人数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R4年度	1430	1495	1430	1495	1485	1430	1495	1430	1495	1472	1280	1472	17409
R5年度	1364	1452	1387	1454	1450	1414	1473	1436	1496	1498	1366	1519	17579

短期入所事業・日中一時支援

(ア) 短期入所事業：定員 6 名

- ・男性女性とも長期間利用している方がいる。
- ・入所利用者が感染症に感染した時期は、新たな感染を防ぐために受け入れを中止した時期があった。
- ・新規利用者や継続して利用される方がいる事で、受け入れ状況は安定していた。

(イ) 日中一時支援：定員なし

- ・契約市町は長泉町、裾野市、三島市、御殿場市。
- ・入所利用者が感染症に感染した時期は、新たな感染を防ぐために受け入れを中止した時期があった。
- ・今まで利用しなかった通所利用者の利用、以前より多く利用した利用者などによって、延べ人数は増えた。

【短期入所受入れ状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R4年度	130	111	103	134	98	126	97	102	102	81	99	120	1303
R5年度	149	159	148	188	146	171	167	166	109	130	109	100	1742
実人数	12	12	11	12	14	13	12	14	9	10	10	5	134

【日中一時支援受入れ状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R4年度	48	41	50	45	50	51	43	44	46	33	42	51	544
R5年度	49	43	52	65	62	63	74	72	68	74	66	64	752
実人数	6	5	6	5	6	6	6	5	5	8	6	6	70

【実習受け入れ】

学校名	期間	学年	人数
知徳高校	4/17～4/28	3	2
〃	5/29～6/2	1	3
静岡県立短期大学	8/23～9/6	2	2
知徳高校	9/11～9/15	1	3
〃	10/30～11/10	1	3

【ボランティア】

業務内容	回数	延べ人数	備考
理容	11	33	沼津市内理容師有志
美容	6	17	Hair cut KAZO
音楽	3	3	
サマーショートボランティア	1	3	
計	21	56	

2. その他

①利用者の状況

	定員	登録者	備考
生活介護	60名	69名	男性 41名・女性 28名 契約終了…他事業所に入所・死亡 新規契約…3名
施設入所	50名	52名	男性 29名・女性 23名 契約終了 2名…他事業所に入所・死亡 新規契約 2名…男性 1名・女性 1名

②年齢内訳

【年齢内訳】

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～	計
男性	1	1	3	3	20	1	0	0	29
女性	0	1	1	2	11	2	1	5	23
通所	0	4	6	5	1	1	0	0	17
計	1	6	10	10	32	4	1	5	69

※平均 49.2 歳 (男性：49.8 歳 女性：56.4 歳 通所：38.2 歳)

※最高年齢 男性：64 歳 女性：78 歳 通所：63 歳

③障害支援区分

区分	3		4		5		6		計	
年・月	R5.4	R6.4								
男性	0	0	1	1	4	3	23	25	28	29
女性	0	0	2	2	9	9	12	12	23	23
通所	0	0	1	2	2	3	12	12	15	17
計	0	0	4	5	15	15	47	49	66	69

※平均 5.6 (男性：5.79 女性：5.43 通所：5.59)

④日常健康管理の状況

	入所	通所
体重測定	毎月 1 回実施	4 ヶ月に 1 回実施
検温	毎日実施	毎日実施
口腔衛生	毎月 1 回実施	年度初めに実施
歯科検診	6/22	なし
インフルエンザ予防接種	12/5	12/5
利用者健康診断	11/6・11/8・11/9・11/10	11 月感染症採血
内科嘱託医相談	毎月 1 回実施	なし
体調の変化	日々確認	日々確認

⑤入院状況

2023 年 6 月	入所女性	内科的な理由
2023 年 8 月	入所男性	内科的な理由

⑥日常生活

- ・感染対策として、男性棟、女性棟、通所で空間を区切り、活動はそれぞれで実施。利用者の状態をより深く把握できる体制を作った。
- ・体力維持や機能維持を意識した活動を行った。体力活動では、長距離の歩行が難しい利用者も、中庭やグラウンドに出て外で活動するようにした。機能維持では、個々に合ったメニューを提供できるよう、係内で話し合ったり、会議で検討を続け、活用できそうな物品は購入した。
- ・体調の変化に早い段階で気付き、対応できるよう、日々の様子を把握したり、気になる事は複数の職員で確認し合い、早めの通院や対応を心掛けた。
- ・感染流行状況を見極めながら、宿泊での帰省や、保護者との食事をはさんだ外出を再開した。面会については生活エリア以外の場所で積極的に受け入れた。

⑦給食管理

- ・利用者の身体状況によって、超刻み食、刻み食、一口食、減塩食などの食事形態を提供した。体調によっては回復までお粥食を提供した。
- ・毎月テーマの都道府県を決め、その地域の郷土料理を提供し、どのような地域でどのような料理が食べられているのか知る機会にした。

4月	静岡県	10月	高知県
5月	京都府	11月	石川県
6月	香川県	12月	北海道
7月	沖縄県	1月	秋田県
8月	宮城県	2月	愛知県
9月	福岡県	3月	宮崎県

【給与栄養目標量】 厚生労働省「食事摂取基準」より

<男性>

エネルギー	1800kcal
蛋白質	90 g
塩分相当量	7.5 g
鉄	11 mg
カルシウム	600 mg
ビタミンA	600 μg

<女性>

エネルギー	1650kcal
蛋白質	70 g
塩分相当量	7.5 g
鉄	11 mg
カルシウム	600 mg
ビタミンA	600 μg

3. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備考
女性棟	391,160	流し水栓改修、デイルーム誘導灯取替 等
女性棟 居室	108,900	引戸修理
男性棟	154,000	トイレ便座・蝶番取替、デイルーム換気扇修理
男性棟 居室	104,808	網戸張替、クロス張替
通所	31,460	照明器具 LED 更新
さくら棟	77,550	鍵交換、ガラス修繕、雨樋補修
厨房・食堂	334,400	仕切戸補修、マンホール蓋修理、給湯器修理等
合併浄化槽	156,200	放流ポンプ 2 台交換
公用車	668,785	(保険対応)車両修繕、駐車場フェンス取替
洗濯室	82,940	機械・洗剤送りホース修理、油さし
ボイラー室	47,300	給湯循環ポンプ修理
その他	92,950	ガス管破損修理、通路屋根・タンク置場ドレン
計	2,250,453	

(2) 物品購入

・固定資産 なし

・器具備品

① 通所 電話機(PHS)	2 台	154,000 円
② 防災食 ひとくちやわらかラスク	96 個	52,358 円
③ 女性棟 デイルーム ブルーレイディスクレコーダー	1 台	66,000 円
④ 女性棟 3人掛けソファ	1 台	47,100 円
⑤ 支援室 シュレッダー	1 台	39,600 円
⑥ 通所 日除けシェード・固定具	1 式	32,799 円
⑦ リネン運搬用 台車	1 台	29,700 円
⑧ 行事用 バーベキューコンロ	4 台	23,840 円
⑨ 支援室・事務室 キーボックス	2 個	20,596 円
⑩ 男性棟 よしず・結束具	1 式	19,130 円
⑪ 通所 掃除機	1 台	11,480 円
⑫ 短期入所用 折り畳みベッド	1 台	9,680 円
⑬ 女性棟 ドライヤー	1 台	5,500 円

○ほほえみ&みのり工房

1、部門目標に対する取り組み

(1) 支援に関する事

家庭・病院・各市町・嘱託医相談支援事業所と連携を図り、利用者の生活面に配慮し、課題解決に繋がる支援に努めた。

①作業内容を工夫し、工賃アップを目指す

- ・近隣企業請負の作業が増え、下請作業の売り上げアップに繋がった。
- ・総売上自体は令和4年度と比べると285万円のマイナスとなったが、リース機材や原材料の見直し、光熱水費の節約を徹底する事で原価が抑えられ、結果的に利用者工賃アップに繋がった。

【提供作業】

	場所 (内容)	R4 年度売上	R5 年度売上	増減	
施設内作業	パン作業	パン製造・販売	8,225,100 円	5,731,114 円	▲2,493,986 円
	菓子作業	焼き菓子製造・販売	10,116,850 円	9,784,868 円	▲331,982 円
	下請け作業	箱折・ビニール拭き 役場、企業受託作業	3,072,000 円	3,975,217 円	903,217 円
	ランチ作業	昼食提供 (R5 年度は1月まで)	2,580,850 円	2,215,854 円	▲364,996 円
	縫製作業	マスク 雑巾 保育園用品製造・販売 (R4 年度末で終了)	353,590 円	なし	▲353,590 円
施設外作業	農作業	野菜販売			
	清掃作業	長泉町浄配水場・役場駐車場・ その他委託場所 (草刈り 清掃 他)			
	園芸作業	役場・清掃事業所・浄配水場・ その他委託場所 (花壇管理)	3,868,476 円	3,954,200 円	85,724 円
	施設外作業	邦栄商興株式会社 (清掃業務補助)	2,093,400 円	1,840,199 円	▲253,201 円
その他	自販機、イベント販売等 (飲み物、ポップコーン 他)	163,165 円	121,635 円	▲41,530 円	
合 計		30,473,431 円	27,623,087 円	▲2,850,344 円	

【令和5年度 利用者工賃】

	R4 年平均工賃	R5 年平均工賃	最高額	最低額
就労移行支援	19,554 円	20,777 円	82,833 円	6,365 円
就労継続支援B型	17,508 円	21,224 円	100,248 円	595 円

②虐待防止・身体拘束の適正化への取り組み

毎月事業所内で虐待防止会議を実施。支援の中での不適切な対応等の確認や虐待防止に関する職員研修等を実施。事業所内での虐待、身体拘束はなかった。虐待防止会議の内容は法人内障害者虐待防止委員会にて共有した。

③個々に適した就労先の開拓

利用者の作業面、身体面・精神面を考慮した上で企業見学・実習を提案。就職面接会の参加や企業訪問等、積極的に実施し実習・見学もしてきたが、令和5年度中の就職には繋がられなかった。

【企業見学・実習先】

企業名	見学	実習	人数	備考
鴻池運輸（株）	○		2名	
アルムメディカルサポート（株）	○	○	2名	1名採用予定 (R6.5.1付)
ウェルシアオアシス（株）	○		1名	
（株）旭洋工業製作所	○	○	2名	1名採用予定 (R6.4.1付)
（株）マキヤ エスポット駿東店	○	○	1名	

④就職者に対し、企業と連携を取り職場定着を図る

これまでに就職に繋がった企業に対し、定期的に連絡・訪問を実施。就職した本人や企業側の問題点・課題を確認、解決に繋がる支援を実施した結果、令和5年度中に離職する方はなかった。

【職場定着実施企業】

企業名	就職者	職種	就労定着支援事業
フジ産業(株) がんセンター内	1名	厨房補助	
東レ（株）三島工場	3名	清掃作業	
鴻池運輸株式会社	4名	容器仕分け	3名
マクドナルド 沼津インター店	1名	調理補助 清掃	
ウェルシアオアシス株式会社	1名	清掃業務	1名
ライオン歯科	1名	医療器具消毒	1名
アルムメディカルサポート株式会社	1名	清掃業務	1名

(2) 人材に関する事

①外部・内部研修

- ・外部研修は受講必須のサービス管理責任者の更新研修、福祉サービス事業者説明会に参加。また、勤務年数や担当業務に応じた研修にも参加し、職員会議で受講内容を報告・共有する事で、他職員のスキルアップにも繋げた。
- ・内部研修は虐待防止に関する内容を主に、日々の支援に必要な研修を月に1回程度実施し、職員全体の支援の統一とスキルアップに繋げた。

【外部の研修】

月 日	研修名	参加人数	主催者
6/28 8/28	精神保健業務基礎研修	1	静岡県精神保健 福祉センター
7/11～13	就業支援基礎研修	1	静岡障害者職業センター
9/6	インボイス制度について	2	静岡県知的障害者 福祉協会
11/2～1/30	相談支援従事者現任研修	2	おきなわ障がい者 相談支援 ネットワーク
11月上旬～ 12/5	静岡県サービス管理責任者等更新研修	1	静岡県健康福祉部 障害者支援局
11/27～ 1/19	障害者福祉サービス事業者説明会	5	静岡県健康福祉部 福祉長寿局
11/22	障害者虐待防止・権利擁護研修	3	長泉町障がい者 自立支援協議会
2/1～3/1	静岡県福祉サービス第三者評価事業啓発研修	3	静岡県健康福祉部 福祉長寿局

【内部の研修】

月 日	研修名	参加人数	講師
4/1	新年度 ほほえみ&みのり工房運営計画説明	13	施設長
4/26	新 AED の使用方法について	13	アルソック
5/2	個別支援計画の作成について (やむを得ず身体拘束をする場合の手続き)	12	施設長
6/6	虐待セルフチェックリスト	12	施設長
7/4	感染症について	12	施設長
8/1	食中毒について	12	副主任
8/30	火災報知器の使用方法について	12	副主任
9/5	AED 研修	12	アルソック
9/5	権利擁護について	12	施設長
11/7	行動制限・身体拘束の解消に向けての支援	11	副主任
12/5	障害者虐待・権利擁護について	12	副主任
1/9	感染症について	11	副主任
2/6	連携の在り方について	11	施設長
3/5	長泉町障がい者自立支援協議会とは	11	副主任

②業務、手順の明確化

- ・各種業務の手順書を確認し、その都度状況に合わせた内容に更新した。

③商品管理の簡略化、インボイス制度への適切な対応

- ・商品管理アプリ『Air レジ』を導入。計算間違いが減り、自動的に売上集計も行ってくれるので、販売時の時間コストの削減に繋がった。
- ・インボイス制度について、県知的障害者福祉協会主催の研修に参加した事で、適格請求書の整備を進める事ができ、10月のインボイス制度スタートに間に合わせる事が出来た。

(3) 地域に関する事

①ボランティア、学生実習受け入れ

【体験学習等の受け入れ】

所 属 等	年間回数等	延べ人数	内容
長泉北中学校（支援級）	5回	33	作業学習
長泉北中学校2年生（職業体験）	1回	3	作業学習
沼津特別支援学校	3回	18	職場実習
御殿場特別支援学校	1回	7	施設見学
伊豆の国特別支援学校	2回	24	職場実習
東部特別支援学校	1回	7	職場実習
小田原短大実習	1回	20	保育実習
横浜保育福祉専門学校	1回	11	保育実習
知徳高校	5回	87	施設実習
御殿場特別支援学校教職員	1回	6	施設見学・説明等

【ボランティアの受け入れ】

所 属 等	年間回数	延べ人数	内容
地域の方々	51	51	作業の手伝い
マムズ	28	32	作業の手伝い
令和の会（保護者会）	13	18	作業の手伝い

②地域のお祭りや行事に積極的に出店

	行事名	回
4月	鴻池販売（2）モクカフェ販売 サクラサク祭り販売 民生販売	5
5月	鴻池販売（2）いずみの郷販売 社協販売 モクカフェ販売 グランドゴルフ協会販売	6
6月	鴻池販売（2）民生販売 いずみの郷販売 仲良し会販売 シニアクラブ販売	7
7月	鴻池販売（2）仲良し会販売 民生販売 モクカフェ販売 納米里祭り 駿河平夏祭り（景品買取）	7

8月	鴻池販売 (1) ヤンセン販売 仲良し会販売	3
9月	鴻池販売 (2) 民生販売 モクカフェ販売 仲良し会販売 区民城山祭り	6
10月	鴻池販売 (2) 民生販売 モクカフェ販売 沼特PTA販売 民生委員見学販売 福祉健康まつり	7
11月	鴻池販売 (2) 民生販売 モクカフェ販売 仲良し会販売 下長窪文化祭 シニアクラブ販売 (2)	8
12月	鴻池販売 (2) 民生販売 モクカフェ販売 シニアクラブ販売 仲良し会販売 障害者週間啓発活動 (景品買取)	7
1月	鴻池販売 (2) 民生販売 仲良し会販売	4
2月	鴻池販売 (2) 民生販売 モクカフェ販売	4
3月	鴻池販売 (2) 民生販売 仲良し会販売 モクカフェ販売 社協販売 理事会販売 (2)	7

③地域課題 等の共有

長泉町内の団体、事業者が集まる、長泉町障がい者自立支援協議会に参加。定期的に会議に参加し、支援の中での課題や問題点を共有した。

主な課題は、各事業所利用者数が増えない (町内の障害者が町外のサービス事業所に流れている。アピールが足りないのでは。) 就労系の事業所の販売機会が少ない、スマホやネットに関するマナーの指導方法について。

共有した課題等を改善に繋げるために話し合った結果、令和5年度事業として、長泉町福祉事業所マップの作成と福祉健康まつりへの出店を実施した。

(4) 経営管理に関する事

①利用者の通所率アップ (収入アップ) を図る

- ・長年利用されている方の高齢化が進み、通院や他サービスを利用する為の欠席が増えているが、パンフレットを見て見学を希望する方が多く、途中入所の新規利用者を4名獲得できたので延べ利用者数が増えた。
- ・個別面談の中で、チャレンジしてみたい作業を確認。また、日々の支援の中から見える本人の得意不得意を把握し、作業内容の提案も実施し『チャレンジしたい』気持ちを吸い上げる支援を重視してきた。自分の意思で決めた作業に対して『頑張るぞ!』という気持ちも強く、利用者の欠席が減った。

【通所内訳、前年度比較】

	定員	延べ登録者	平均通所人数 /日	令和5年度 延べ利用者数	令和4年度 延べ利用者数	比較
就労移行支援	6名	41名	2.86名/日	772人	694人	+78人 ※1
就労継続B型	34名	580名	37.74名/日	10182人	9490人	+692人
就労定着支援	—	57名	—	57人	79人	▲22人

※1→登録人数3名でスタートしたが、特別支援学校の就労アセスメントの利用が多く、8月には6名の登録があった。

②非常災害、感染症対策の強化

法人内障害事業所防災委員会は隔月、感染症対策委員会は毎月実施。

各事業所の防災訓練内容や感染症対応状況等の共有、法人内障害者施設の事業継続計画の見直しを行った。

【防災訓練実施内容】

	訓練内容		訓練内容
4月	災害伝言・スラック訓練	10月	障害者総合防災事業継続訓練 防災備品確認・災害伝言訓練
5月	炊出し訓練 防災食体験	11月	火災想定避難訓練
6月	送迎時伝達訓練	12月	地震想定避難訓練 訓練実施結果報告書提出（県）
7月	火災想定避難訓練 消防訓練通知書提出（長泉消防）	1月	地震想定避難訓練 災害伝言訓練（保護者）
8月	地震想定避難訓練 災害伝言・スラック訓練	2月	火災想定避難訓練
9月	AED 研修	3月	防災倉庫整理・点検

2、その他

（1）利用者の状況

市町別登録人数等

令和6年3月末

【就労移行支援事業】定員6名 登録3名

区分	登録人数			年齢内訳				
	男	女	計	～19	20～29	30～39	40～49	50～
長泉町	1		1	1				
裾野市	1		1				1	
三島市		1				1		
計	2	1	3	1		1	1	

【就労継続支援事業B型】定員34名 登録49名

	登録人数			年齢内訳				
	男	女	計	～19	20～29	30～39	40～49	50～
長泉町	21	16	37		5	5	9	18
裾野市	4	3	7	2	1		2	2
清水町	2		2		1			1
伊豆の国市		1	1					1
三島市		1	1			1		
熱海市		1	1				1	
計	27	22	49	2	7	6	12	22

【就労定着支援事業】登録5名

	登録人数			年齢内訳				
	男	女	計	～19	20～29	30～39	40～49	50～
長泉町	3	2	5	0	2	2	0	1
計	3	2	5	0	2	2	0	1

(2) 施設行事

① 静香会 35 周年記念交流会

10月31日(火)に実施。

普段からお世話になっている方々に感謝の気持ちを込めて、楽しい時間を共有する事を目的に開催。近隣の企業様やボランティアさまを招待し、餅つきやレクリエーション、抽選会を実施した。お祭りのような雰囲気、楽しい時間を共有する事が出来た。

② 季節行事

以下内容を実施。利用者の作業へのモチベーションアップに繋がった。

- ・ 6月7日(水)～9日(金) 健康イベント
- ・ 8月10日(木) 納涼かき氷大会
- ・ 12月21～23 クリスマス 3days (ランチ)
- ・ 1月10日(水) 鏡開き
- ・ 2月1日(木) 鬼退治ゲーム・節分ランチ
- ・ 3月29日(金) 1年お疲れ様会

3、施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の補修

製氷機部品交換	49,236 円
給水ユニット交換 ※役場予算にて	0 円
高圧気中開閉器交換 ※役場予算にて	0 円
	計 49,236 円

(2) 物品購入

・ 固定資産	
キャラバン 2 台 (送迎車両)	6,780,000 円
・ 器具備品	
全自動洗濯機	52,360 円
備蓄用防災食・水	156,780 円
草刈り機	36,500 円
レシートプリンター 紙付き	39,600 円
電子レンジ	17,600 円
	計 302,840 円

1、目標に対する取り組み

(1) 支援に関すること

- ① ICTを活用し、感染症流行下でも支援をとめず、その時・その方の状況にあわせた支援を提供する。(zoom、LINE、UD トーク、メールなどの活用)

ICTの活用実績

- ・聴覚障害の方や児童の親御様に対して電話以外のLINEやUD トークなど、連絡のとりやすい手段を活用。
- ・英語を主とする方に対して、LINE 翻訳を活用。

- ② ストレングス、権利擁護、虐待防止の視点をもった対応を行う。

虐待コアメンバーとして、町と連携し初動対応のとれる体制を確保する。権利擁護や虐待防止の取組として、長泉町福祉保険課と連携をとり、その方の世帯状況や強みケースにあわせた対応を行った。

- ・成年後見制度利用に対する取り組み 3件
- ・自己破産に関する協力 1件
- ・障害年金受給に関する協力 3件
- ・コアメンバーとしての対応件数 3件

- ③ 日々の支援の中で課題意識をもった支援を行う。

各種会議や自立支援協議会を活用し、地域の状況・ニーズ把握をすると同時に、困難ケースについて多角的な視点を得ながら安心につながる支援を提供する。

ア、地域のニーズ把握の機会

- ・毎月開催するマネジメントレビューにて地域課題の吸い上げを実施。
- ・自立支援協議会各部会にて、課題検討を継続

イ、ケース検討の機会

- ・朝ミーティングにて日々の相談業務について検討し、より深めたいケースにおいては「ケース検討会」として別途時間をもうけ、支援方法や他機関との連携方法について検討を行った。
- ・長泉町障がい者自立支援協議会の各部会においてもケース検討機会をもうけ、町内支援者の意見も取り入れた支援につながった。

(2) 人材に関すること

- ① 虐待防止会議、感染症対策会議、防災対策会議において、輪番制で各テーマ報告を行い予防意識を高めながら、会議進行や伝える(伝わる)力の向上を目指す。

ア、虐待防止会議・感染症対策会議・防災対策会議での研修実績

年間計画のなかに各相談に担当割り振りを実施し、LGBTQ や熱中症予防など調べてきた結果を皆に共有する場を設け、説明する訓練機会とした。各会議では、法人内障害者虐待防止委員会、感染症対策委員会、防災対策委員会からの報告も実施した。

研修実施結果 ()内は実施者 ★は委員会で計画された年間計画

	虐待防止会議	感染症対策会議	防災対策会議
4月	★個別支援計画について(渡邊)		防災マニュアル確認(渡邊)
5月	コアメンバーの動きについて(渡邊)	コロナの今後の動きについて(芹澤)	171・スラック訓練
6月	★虐待防止法の理解(渡邊)	熱中症対策(佐藤有)	171・スラック訓練
7月	ネグレクトについて(佐藤)	脱水症について(林)	
8月	★権利擁護とは(渡邊)	訪問時の救急対応方法(佐藤正)	
9月	セルフチェックリストの実施	B型・C型肝炎について(小池)	171・スラック訓練
10月	★行動制限や身体拘束の解消にむけて(渡邊)		テント組み立て(動画視聴)
11月	★差別解消法について(渡邊)	嘔吐物対応(看護師)	171・スラック訓練 噴火について(渡邊)
12月	★虐待防止法の理解(渡邊)		171・スラック訓練
1月	LGBTQとは(佐藤有)		171・スラック訓練
2月			171・スラック訓練
3月	★個別支援計画(身体拘束)について(渡邊)		

② グループスーパービジョンやファシリテーション技術を大切にした事例検討機会をもうける。

ア、事例検討会実績

所内での事例検討機会の他、自立支援協議会相談支援部会でも他事業所の事例検討機会があり、ファシリテーション、書記、事例紹介の力をつける機会となった。

③ 法制度の共通理解につながる機会をもうける。

ア、法制度理解の機会

毎朝実施する朝ミーティングや、毎月開催するマネジメントレビューの場で、把握した制度の情報について共有。

<具体的共有内容>

- ・グループホームの種別
- ・行動援護判定基準(強度行動障害の判定基準)
- ・意思決定支援ガイドラインの紹介

- ・令和6年度報酬改定内容

イ、各種研修参加

参加していない相談員にも情報共有できるように、毎月開催するマネジメントレビューにて報告いただいた。また、報告翌月には、研修受講後の取組について発表し、有効性を確認する機会としている。

＜外部研修参加実績＞ 計23件 以下抜粋

- ・法定研修（相談支援専門員初任者研修・現任研修）
- ・事業者説明会
- ・地域移行・定着研修
- ・障害特性に関する研修（発達障害、医療的ケア児、高次脳機能障害等）
- ・防災関係研修
- ・法制度（差別解消法、虐待防止研修）
- ・重層的支援体制整備事業に関する研修

＜内部研修実績＞ 計27件

- ・虐待防止会議にて 11件 …制度理解、LGBTQ 他
- ・防災対策会議にて 10件 …消火訓練、起震車、火災避難訓練 他
- ・感染症対策会議にて 6件 …熱中症、訪問時の緊急対応 他
- ・このほか、自己研鑽で得た学びを発表する機会を設けた。（11件）

（3）地域に関すること

① 基幹相談支援センター設置初年度。今ある仕組みに基幹相談支援センターの機能を肉付けし、基幹相談としての支援内容を整理する。また、地域に知っていただく機会をもうける。

ア、基幹相談としての業務内容

求められる4つの機能に対する取り組み結果

◆総合的・専門的な相談支援の実施

- ・未診断の方への相談対応、地域包括支援センターとの連携
- ・社協や医療からの相談対応
- ・特定相談につながるケースの割り振り

◆地域の相談支援体制の強化の取組

- ・重層的支援体制整備事業準備室 定例会への出席
- ・長泉町社協 支援調整会議への出席
- ・駿東田方圏域自立支援協議会 運営会議、相談部会への出席
- ・重層的支援体制整備事業準備室の開催する研修会への出席および事例検討への協力
- ・法定研修（相談支援専門員初任者研修、サービス管理責任者研修等）における現場実習協力
- ・他事業所相談員に対し区分調査の同行機会を提供
- ・裾野市、清水町の主任相談支援専門員と合同で1市2町研修会を開催

◆地域移行・地域定着の促進取組

- ・地域移行支援の実施 1件
- ・地域移行支援・地域定着支援について、他事業所相談員へ帳票類や取組

方法を説明

◆権利擁護・虐待防止

- ・虐待コアメンバーとして、長泉町と合同で状況把握を行ったりコア会議に出席。
- ・相談支援部会にて、虐待コアメンバーの取組を報告。対応事例から考えられる課題について検討機会を設けた。
- ・自立支援協議会を活用し、虐待防止研修会を開催。

◆その他

- ・長泉町自立支援協議会の運営を活かした取り組み

会議名	開催回数	活動内容
全体会	2回（9月、2月）	各部会活動報告 地域課題の検討 障害福祉計画等の検討
運営会議	6回（全体会打合せ含）	各部会活動報告 課題検討 全体会打合せ 通称名検討
子育て支援部会	5回	サポートファイル 医療的ケア児支援 課題検討 情報交換
事業所部会	6回	事業所紹介・相談 福祉健康祭り出店 課題検討・情報交換 ミニ就労部会
相談支援部会	12回	事例検討 地域資源等情報共有 虐待防止関係 課題検討
地域生活支援拠点プロジェクトチーム（行政主導）	1回（2月）	拠点対象者の検討 運営状況の確認

・地域生活支援拠点

R4年度より開始。基幹相談支援センターを開始するにあたり、令和5年度よりゆううんが緊急時の調整や体験機会の相談等を対応することとなった。今年度、緊急対応実績はなかったが、親亡き後を見越した対象者として新たに1名登録に至った。

イ、地域への周知

- ・長泉町が運営する重層的支援体制整備事業準備室の定例会に出席し、基幹相談支援センターを開始したことを報告。
- ・長泉町社協の開催する、支援調整会議に基幹として出席。

② 障がい者理解につながるよう、ハッピーのわを活用して活動発信を行う。

ウィズコロナにおける活動の充実を目指す。

ア、ハッピーのわ

町内在住・在勤・在学の18歳以上の障害者で、集合場所まで自力で来て、帰る事ができる方。（自力では移動が難しい方は保護者等の送迎を利用）令和2年度より、町外へ引っ越された方についても、ハッピーのわを楽しみとさせていただいているためご自身で参加できる方においては「参加可」としている。

◆活動報告

- ・コロナが5類に移行したため、LINEビデオ通話で参加していた方も現地参加して下さった。
- ・前年度アンケートをもとに開催内容を検討。数年ぶりにボウリングや外出機会を提供することができた。
- ・今年度もながいずみ観光交流協会様によるワークショップを開催いただいた。
- ・悠雲寮のブログにハッピーのわの様子を掲載し、活動周知を行ったほか、自立支援協議会相談支援部会でも宣伝を行ったことで新規参加者が4名増えた。（令和4年度参加者78名のところ、令和5年度は92名参加）

◆開催日・内容

※7回開催

内容	日付	時間	場所	参加人数
オリエンテーション カレンダー作り	5/13(土)	13:30~14:30	コミュニティながい ずみ	15人
ながいずみ観光交流 協会ワークショップ	6/10(土)	13:30~14:40	コミュニティながい ずみ	9人
ボウリング	7/8(土)	13:30~15:00	パークレーンズ (サントムーン柿田 川)	13人
水族館鑑賞	9/16(土)	13:30~14:30	幼魚水族館 (サントムーン柿田 川)	13人
福祉健康まつり参加	10/15(日)	10:15~12:00	福祉会館・いずみの 郷	10人
紅葉を楽しむ会(楽 寿園散策)	11/18(土)	13:30~15:10	楽寿園	14人
クリスマス会(パルー ンアート作製)	12/9(土)	13:30~15:00	コミュニティながい ずみ	18人

(4) 経営管理に関すること

① 特定相談を計画的・効率的に行い、実施予定月の提供を目指す。

ア、計画的・効率的な取り組み

- ・ゆううん相談員の人数は変更ないまま、特定相談の件数は増え、基幹相談支援センター等新たな業務が加わることとなったが、請求業務や発送業務

などの事務作業を事務職員へ依頼するなどの業務整理を行ったり、時間外勤務をさせていただいたことで、年度内には予定していた特定相談件数を達成することができた（体調不良など利用者都合によるものを除く）。

R4 年度 新規計画相談開始人数…12 人 ※以下は請求件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成	14	14	9	21	9	16	13	17	12	10	13	10	158
継続相談	29	36	34	27	23	36	28	29	44	18	46	58	408
地域定着	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
地域移行	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
区分調査	2	3	5	3	3	1	1	4	6	4	1	4	37

※地域定着：継続 1 名 緊急対応：1 件（体調確認）

※地域移行：R4 年度 1 名（R4.2 月契約→R4.6 月地域へ退院）

令和 5 年度 新規計画相談開始人数…28 人 ※以下は請求件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成	31	15	21	28	18	13	20	23	23	18	20	20	250
継続相談	29	39	53	45	34	43	38	28	58	41	43	54	505
地域定着	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
地域移行	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	6
区分調査	1	4	0	3	4	3	4	2	1	8	1	3	34

※地域定着：継続 1 名 緊急対応：7 件（体調確認）

※地域移行：R5 年度 1 名

② 防災意識を維持するため、防災マニュアルの内容を含めた定期会議を行い、地域利用者様の防災意識を高める支援を行う。

毎月防災対策会議を開催することでゆううん相談員の防災意識を高めるほか、地域利用者様の防災意識を高める支援にも取り組んだ。

- ・緊急連絡先や避難先を確認する取り組みを実施。
- ・長泉町主導で作成を進めている「個別避難計画」の作成に 1 件協力した。協力にあたっては、防災研修（WEB 開催）に相談員 1 名が参加し、作成目的、作成方法を把握したうえで対応している。
- ・事業継続計画にそった障害者施設合同防災訓練にむけて、ゆううんが担当している地域利用者様のハザートの高い方一覧を修正。

2、その他

(1) 支援実績

相談件数 ※児童含む

	令和 5 年度
長泉町内 述べ件数	8553

長泉町内 実人数	314
----------	-----

長泉町外の対応者：法人内事業所利用者、他 3 名

契約終了：23 名（転出、サービス終了 等）

新規契約：30 名（利用再開者含む）

主な相談内容

	支援内容	令和 5 年度
①	福祉サービスの利用等に関する支援	6517
②	障害や症状の理解に関する支援	1550
③	健康・医療に関する支援	1580
④	不安の解消・情緒安定に関する支援	1192
⑤	保育・教育に関する支援	408
⑥	家族関係・人間関係に関する支援	1683
⑦	家計・経済に関する支援	275
⑧	生活技術に関する支援	712
⑨	就労に関する支援	852
⑩	社会参加・余暇活動に関する支援	320
⑪	権利擁護に関する支援	584
⑫	その他	163

- ・ 1 人の相談者に対し 1 度に複数項目にまたがる支援を実施。
- ・ アフターコロナ 余暇に関する支援が増えた。
- ・ 成年後見制度、障害年金における取組を実施した。

3、施設整備の補修及び器具备品購入等

(1) 維持補修

なし

(2) 物品購入

備品

<環境整備>

加湿器	1 機	7,700 円
電子レンジ	1 機	14,300 円
サーキュレーター	1 機	8,580 円
強カステープラー	1 機	7,691 円
無停電電源装置	1 機	19,910 円

<感染症対策>

靴カバー	1 箱	1,590 円
かんたん汚物処理キット	6 箱	6,942 円
天馬(Tenma) 収納ケース	3 個	4,311 円

<防災備品>

アウトドア折り畳みテーブル	2 脚	6,987 円
キャプテンスタッグアルミ ベンチ	2 脚	7,610 円
ブルーシート	4 枚	5,072 円

○このはな保育園

1. 年間通しての取り組み

(1) 保育の質向上

- ① 新型コロナウイルスが終息し、保育を 2019 年度以前の形に戻していった。同時に、コロナ渦において見直した行事の在り方など、本当に必要なもの、変えてよいもの等について再考し、時代に合った新しい保育の在り方を探した。保護者には、行事での留意事項など伝える内容が多くなったが、丁寧に説明することで良い関係性維持することができた。また、頻回ではなかったものの、4月に開園したススミダスの園児と園庭を共有するなど、子ども達の世界観がよい意味で広がる保育を展開することができた。
- ② 外部研修に関しても対面での実施が増え、キャリアアップ研修をはじめ、静岡県保育連合会主催の研修、全国的な規模の研修などに時間を作り積極的に参加した。コロナ渦の産物として、オンデマンドの研修などもカジュアルなものとなり、自己研鑽として受講する職員も多く見受けられた。内部研修もおよそ月に1度のペースで実施することができ、保育実践や振り返り、支援児対応、不適切保育等についての見識を広げた。全体的な計画や年間計画、月案、週案などの見直し、ペーパーレス化は前年度より継続して行った。
- ③ 子どもの主体性を引き出し、対話的な保育となっているか、また、子どもの興味や発達に沿った計画になっているかを検討し、必要に応じ変更を行った。園内環境や園庭、果樹園の充実を図り、環境を通した保育を実践した。支援を必要とする園児には、ススミダスや行政、他市町村の療育機関と連携を図りながらの支援し、その子にとって最適な場所への接続を行うことができた。月に1度の職員会議では、事前に課題や協議事項を明確にし、時間の短縮を図った。クラス業務に充てる時間増と時間外労働削減に努めた。各クラスからの現状報告や保育の振り返りについては、ドキュメンテーションを用いて実施した。
- ④ マネジメントカメラを活用し、保育の振り返りや園児トラブルの検証を行った。園庭、果樹園のカメラも利用し、安全面の充実を図った。
- ⑤ ドキュメンテーション(写真を用いた保育記録)での情報発信、「おうちえん」での動画配信を継続。『保育の見える化』を進めた。スマート

フォンへの情報配信は好評であった。

- ⑥ ICT システムの活用や、業務の細かな分担、年次有給休暇の積極的取得により、働きやすい職場作りを行った。登降園チェックシステムキッズリーは連絡帳機能だけでなく、保育計画や振り返りにも活用した。前年度契約解除した 0.1 歳児の睡眠チェックツール「ルクミー」の代わりに、職員の目視によるブレスチェックを徹底したが、業務負担増とはならなかった。集金業務は完全キャッシュレスに移行し、保護者からは大変好評であった。

(2) 人材の育成

- ① マニュアルや手順書を整理し、職員会議にて伝達した。細かな伝達、連絡は漏れをなくすために SLACK にて行った。
- ② 外部研修を積極的に受講し、そこで得た知識や情報は SLACK や毎月の職員会議で共有した。園内研修チームが中心となり、職員からのニーズを踏まえた園内研修も企画、実施した。
- ③ 園内研修や研修報告では、一方的な講義だけでなく双方向の意見交換の場も設けるなど、参加型の研修を取り入れた。

(3) 地域との連携

- ① 法人行事への参加や法人内他施設との交流はまだまだ元通りとはいかなかった。桃沢幼稚園との交流も先方の都合により未実施。
- ② 長泉町役場こども未来課、その他の行政機関との連携は例年通り行った。短大生や看護学生の実習受け入れに関しては、十分な対策を取った上で、学校とも協議をしながら行った。

(4) 安定した経営

- ① 光熱水費の無駄を省き、教材、教具、備品を細かく管理した。発注時期を決め、発注回数を減らし、管理のしやすさも求めた。
- ② 長泉町役場と連携を取り、4 月の園児数 100 名から、年度末は 108 名まで受け入れを拡大した。

2. 実施した主な行事・活動

4月	3日 進級式（在園児） 5日 入園式（新入園児・保護者） 15日 新年度説明会
5月	11日 歯科検診（服部先生） 25日 内科検診（山本先生）
6月	1日 衣替え 2日 親子遠足（3歳以上児・シーパラダイス）→荒天につき変更 8日 さつまいものつるさし 16日 オープン参観
7月	4日 交通安全教室（交通安全教会裾野支部・3歳以上児。） 7日 七夕のつどい（全園児参加） 29日 このはな夏祭り
8月	5日 わくわくまつり 14日～ 希望保育実施（3日間）
9月	1日 防災引渡し訓練 7.20日 一斉園見学の日
10月	7日 このはな運動会
11月	7日 さつまいも掘り 9日 内科検診（山本先生） 13日 お箸贈呈式（年中） 15日 焼き芋大会 17日 祖父母参観会 27日 親子遠足
12月	2日 生活発表会（2部制人数制限有） 14日 もちっこ会（もちつき） 22日 クリスマス会 29日～ 冬季休園 ※みかん狩り（石原さんの畑にて）
1月	～3日 冬季休園 5日 新年の集い 12日 静香会35周年イベント
2月	2日 節分の集い 14日 オープン参観 29日 修了写真撮影
3月	5日 入園説明会 17日 年度末説明会 22日 修了式 23日 卒園式

3. 毎月実施した行事

身体測定 誕生会 お弁当の日 避難訓練

4. 園児数推移

	ひかり	ほし	たいよう	にじ	つき	そら	計
	(0歳児)	(1歳児)	(2歳児)	(3歳児)	(4歳児)	(5歳児)	
4月	8	16	17	21	19	19	100
5月	8	16	17	21	19	19	100
6月	9	16	17	21	19	19	101
7月	9	16	17	21	19	20	102
8月	10	16	17	21	19	20	103
9月	10	16	17	21	19	20	103
10月	11	16	17	21	19	20	104
11月	11	16	17	21	19	20	104
12月	12	16	17	21	19	20	105
1月	12	16	17	21	19	20	105
2月	12	16	17	20	19	20	104
3月	13	18	18	20	19	20	108

5. 保護者(家庭)との連携

- ① 園だよりの発行。(月に1回以上、webにて)
- ② クラスだよりの発行。(月に1回以上、必要に応じ随時、webにて)
- ③ 連絡帳(アプリ Kidsly)でのやりとり
→0.1.2歳児:園での様子などを毎日記入、家庭での様子も毎日把握した。
→3.4.5歳児:必要に応じ記入し、家庭からも同様に使用していただいた。
- ④ 緊急連絡、お知らせ、重要事項の確認などもキッズリーにて行った。
- ⑤ ブログの更新、Instagram、クラス単位でドキュメンテーション(写真を用いた保育記録)を掲示(スマホに配信)。

6. 延長保育利用実績

① 18時以降の利用は延長保育とした。

② 利用料金 18時～18時29分 → 200円

18時30分～19時 → 500円

③ 利用人数は延べ611人。延長料金は年間で143,500円であった。

7. 一時預かり事業

(1) 利用人数は延べ235人。利用料金は年間で476,100円であった。

8. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の維持補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備考
厨房	1,100,000	エアコン入替工事
厨房	122,100	漏水修理、各種修理
階段窓	94,490	窓・オペレータ補修
その他	32,450	電話アナログ回線引込工事
計	1,349,040	

(2) 物品購入

・固定資産

① 害虫駆除機クリーンホープ	2台	770,000円
② テラス前芝張工事	一式	319,000円

・器具備品

① 管理用 iPhoneSE	3台	221,100円
② おうちえんトーク専用イヤホン	8機	140,800円
③ 砂場シート	2枚	136,400円
④ 防災食（スープ等）	一式	70,632円
⑤ 室内運動用わいわいマット	2式	62,000円
⑥ 哺乳瓶殺菌庫	1台	49,800円
⑦ STEM 実験セット	一式	32,000円
⑧ キャラクターマット	1枚	31,900円
⑨ 乗用遊具コンビバンバン	1台	28,160円
⑩ 紙パック式クリーナー	1台	20,900円

○悠雲の家およびアネックス悠雲の家

1. 目標に対する取り組み

(1) 支援に関すること

- ① 利用者満足度アンケートの結果や利用者の要望を日々の支援や行事等に反映し
 コロナ禍であっても利用者が楽しく生活を送れるようにする。
- ・現在の感染症対策について随時利用者に伝え、適切な対応を行い1名のコロナ感染はありましたが、クラスターにはならなかった。
 - ・満足度アンケートの結果からグループに分かれて旅行に行きたいとの声があり、利用者
 と行き先を話し合った。その結果、感染症対を行いながら山梨方面と清水方面に分かれて
 日帰り旅行を行った。

〈実施内容〉

4月15日	誕生会	12月21日	誕生日会・クリスマス会
5月27日	誕生会	1月4日	新年会
6月17日	誕生会	2月15日	誕生会
11月17日	日帰り旅行(山梨・清水方面)	3月24日	誕生日会

〈利用者状況〉

利用者	年齢	程度	勤務先	給料(月額)	年金月額	出身地
A(女)	74	中度	ほほえみ&みのり工房	22,000円	65,000円	長泉町
B(女)	39	軽度	ほほえみ&みのり工房	23,000円	65,000円	三島市
C(女)	37	軽度	さつき園	124,000円	65,000円	熱海市
D(女)	76	中度	ほほえみ&みのり工房	22,000円	65,000円	長泉町
E(女)	42	軽度	ほほえみ&みのり工房	20,000円	65,000円	熱海市
F(女)	62	中度	ほほえみ&みのり工房	20,000円	65,000円	裾野市
G(女)	67	中度	ほほえみ&みのり工房	20,000円	85,000円	長泉町
H(男)	53	軽度	リースサンキュー	77,000円	65,000円	清水町
I(男)	57	軽度	ほほえみ&みのり工房	23,000円	65,000円	裾野市
J(男)	36	軽度	鴻池運輸	130,000円	65,000円	長泉町

離職者なし 平均年齢 54 歳

※H&M・・・ほほえみ&みのり工房

- ② 職員同士のコミュニケーションの活性化を図り、虐待防止に努める。
- ・月に1回虐待防止会議をGH内で実施。(年12回)
 会議内で、虐待の研修を行い、利用者が嫌な思いをしていないか、職員の支援も振り返り
 研修等を行い虐待はなかった。
 - ・月に1回法人内障害者虐待防止委員会に参加(年12回)
 各事業所が集まる法人内障害者虐待防止委員会にてGHの報告を実施し、各事業所からの
 情報を、GHの虐待防止会議にて職員に周知した。
- ③ 今年度から2名利用者が増えるが、全員が楽しく生活できるよう、日々の様子を会議で
 話し合い改善を検討していく
- ・毎月の会議で問題点を検討し、統一的な支援を実施することで、他の利用者との関わりに

注意することで、問題なく同生活を送ることができた。

- ・新たな利用者から、『休みの日に自炊をしたい』との要望があり、衛生的にまた安全に自炊できるように時間をかけて支援を行った。他の利用者からも自炊の要望があがり支援を実施した。現在休みの日に自炊をする利用者が4名となった。

(2) 人材に関すること

- ① スキルアップに必要な外部研修を受講するとともに、月に1回内部研修を行い、職員同士のスキルアップにつなげる。

外部の研修

月 日	研修名	参加人数	主催者
5月16日	事業所部会	1	長泉町
7月11日	事業所部会	1	長泉町
11月14日	事業所部会	1	長泉町
1月19日	事業者説明会	1	静岡県健康福祉部
1月30日	相談支援従事者現任者研修	1	沖縄県
3月12日	事業所部会	1	長泉町

内部の研修

月 日	研修内容	参加人数	講師
4月21日	防災マニュアルについて	4	木村
5月31日	虐待について（高齢者施設の事例）	4	木村
6月28日	食材の管理方法について（感染症）	5	福田栄養士
7月31日	セルフチェックシート実施 権利擁護	4	木村
8月31日	成年後見制度（事例）について	4	木村
10月26日	行動制限、身体拘束解消について（虐待）	4	木村
11月24日	障害者差別について	4	木村
12月27日	虐待防止法の理解について	4	木村
1月31日	手洗いについて（感染症対策）	4	木村
2月27日	高齢者の転倒予防について	4	木村

- ② 日々の業務日誌や会議にて職員の不安や悩み等を共有・検討し、安心安全に業務ができる環境を作る

- ・年に2回（8月と2月）に職員面談を実施。
世話人の困りごとを確認し、解決の為の提案を行い、改善を行った。
- ・GH会議（年12回）内で困りごとや改善すべきことについて話し合い、必要に応じて助言を行い問題なく業務ができた。

(3) 地域に関すること

- ① 外部の会議や研修に職員が参加をし、情報収集や困難事例の検討等を通して、地域の課題を把握していく。

- ・2か月に1回開催された事業所部会に5/16、7/11、9/5、11/14、1/9、3/12の計6回

参加をした。

情報共有や事業所紹介を通して各事業所の課題を共有することができた。

② 地域イベントの情報提供や利用者と月に一回奉仕活動を実施し、地域との関わりを増やしていく。

- ・地域のイベントについて利用者に伝えるとともに月に1回の奉仕活動を4/15、5/20、6/7、7/22、9/9、10/14、11/23、12/23、1/13、2/16、3/16の計11回実施した。
- 行った際には地域住民の方から「ありがとう」等の声をかけられることもあり、地域との関わりを深めることができた。

(4) 経営に関すること

① 国や県からの通達内容等を確認し、光熱水費等節約に努める。

- ・県から『物価高騰対策支援金』を頂いた。
- ・毎月のGH会議内で光熱費の確認を行い使い過ぎを防ぐことができた。
- ・エアコン使用時は効率よく換気できるように利用者へアドバイスをした。
- ・電気や水道の使いすぎる利用者に対しては使用方法の見直しをした。

② 災害時や感染症が蔓延した際でも安定した経営が送れるよう配慮する。

- ・2ヶ月に1回の法人内障害者防災委員会に参加し、各事業所の課題や訓練方法等の検討を行い、GH内の防災会議で内容を検討し職員に周知した。もしもの時に備える事ができた。(法人内障害者防災委員会 年6回、防災会議 年12回)
- ・10/17 事業継続計画に沿った障害者施設合同防災訓練を実施した。事前に想定をした内容での訓練を実施することができた。
- ・毎月のGH会議で感染症対策会議を実施した。(年12回)
5月にコロナが5類となり、社会情勢を見ながら、GH内での感染症対策の見直しをした。また会議で上がった課題等を各事業所が集まる法人内障害者感染症対策委員会にて報告・検討をした。法人内障害者感染症対策委員会で上がった内容はGH内の感染症会議で職員に周知し感染症対策を徹底することでクラスターを回避した。

2、その他

(1) 健康管理

- ・日常の定期通院などは個別に声掛けを行い、忘れずに通院できるようにした。
一人では受診が難しい利用者については必要に応じて、世話人が同行(有料サービス)をした。
- ・10月に1名コロナ感染。
感染に伴い、食事は部屋ごとなど、個別対応を徹底する事で、他の利用者に感染する事はなかった。また、世話人が早めに通院対応をしたので感染した利用者も重症化や後遺症が残る事がなかった。

(2) 家族との関係

- ・必要に応じて家庭に連絡を実施した。
- ・家族が面会に来られる利用者もおり、その際には表情が柔らかくなり言葉数も多くなったと喜ばれる保護者もいた。

3、施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備考
テレビ受像調査及び復旧作業 (301・302・305・306・307号室)	5,500円	
テレビ受信不良修理 (301・302・305・306・307号室)	11,000円	
計	16,500円	

(2) 物品購入

・器具備品

302号室 台所水道浄水カートリッジ	13,200円
鍵付きロッカー(@4,950円×2個)	9,900円
302号室 食器乾燥機	12,100円

・固定資産

302号室 大型冷蔵庫	269,830円
-------------	----------

○スミダス

1. 令和5年度目標 に対する取り組み

(1) 園児・保護者に関すること

- ① **子どもが安心して自立して行動できることを実感できるよう、子どもの個性、発達特性を尊重した活動を行う。また、保護者の方とともにお子さんの情報を共有し、それぞれの子どもに合ったかかわり方を一緒に考え、実践する。**
 - ・アセスメント（子どもの情報、観察）を活用し、子どもの興味関心から活動を計画するよう努めた。
 - ・発達段階に合わせた基本的生活習慣の自立に取り組み、子どもの育ちを保護者と共有し、次のライフステージにつながる支援に取り組むことができた。
 - ・将来を見据え、役に立ち、意味のあるコミュニケーションスキル、ソーシャルスキルの獲得を目指すため、子どもの興味関心のある事柄についてアセスメントを行い、活動に取り入れるよう努めた。
 - ・作業療法士によるコンサルテーションを月に1回実施。また担当者会議・サポート会議を行い、支援者の支援技術を高めるとともに、支援者自身のサポートに取り組んだ。

※発達に特性のある子どもたちとかかわるため、エビデンスのある下記プログラム等を根拠、参考にした。

 - ・医療機関による検査結果・TEACCHプログラム・太田ステージ
 - ・感覚と運動の高次化理論・PECS・ABA応用行動分析
- ② **実施した療育が適切であったかどうか、またその実践が子どもの育ちにどのようなつながったのか振り返る。**
 - ・考察、反省を日誌（HUG）に記載し、必要に応じて関係職員で検討する機会を設け、次の活動やかかわりにつなげた。
- ③ **保護者との連絡や出欠席管理等、負担を最小限にする。**
 - ・キッズリー（連絡帳アプリ）、HUG（国保連請求アプリ）を用いて職員の事務業務の負担を最小限にすることができた。
- ④ **マネジメントカメラを活用する。**
 - ・療育の振り返りや、ヒヤリハットの検証などにカメラの情報を活用し、職員のスキルアップや全体のリスクマネジメントを図ることができた。
- ⑤ **現金での集金は行わず、キャッシュレス（エンペイ）決済システムを導入する。**
 - ・職員、保護者双方の負担を最小限にすることができた。

(2) 人材の育成

- ① **法人のISOを参考にし、マニュアルや手順書を順次作成する。**
 - ・マニュアルや手順書を作成後も継続的な見直しが必要であった。変更点や改善点は職員会議で伝達するとともに、情報の漏れがないようSlack（職員情報共有アプリ）を用いて伝達を行った。

② 外部研修や web 研修に積極的に参加する。

- ・そこで得た新たな情報、知識は、書面または会議にて関係職員に報告した。

【外部研修】

月日	研修名	参加人数	主催者
11月14日	児童虐待防止講演会	1	長泉町こども未来課
11月	障害児・者福祉サービス事業者説明会	1	静岡県福祉指導課
12月	相談支援・就業支援セミナー	1	日本知的障害福祉協会
12月12日	感染症対策セミナー	1	静岡県福祉指導課
1月	障害者虐待防止・権利擁護研修	1	静岡県障害者政策課
1月	報酬改定セミナー(前編)(後編)	1	リタリコ発達ナビ
2月	福祉サービス第三者評価事業啓発研修会	1	静岡県福祉指導課
2月6日	子どもがいる現場のリスクマネジメント講座	1	静岡県社会福祉協議会
2月14日	長泉町立北小学校特別支援教育研修会	1	長泉町教育推進課
2月22日	保育現場での保護者とのコミュニケーション講座	1	静岡県社会福祉協議会

③ 【内部研修】

- ・合同会社ちあーずとコンサルタント業務委託契約を締結し、6月より月に8時間のコンサルテーションを実施。実施前に質問事項をコンサルタントに送付、コンサルテーション当日にコンサルタントからアドバイス・指導いただいた内容を実施。実施した結果を記録し次のコンサルテーションで報告することを繰り返した。
- ・職員会議(月に1回)内で「虐待防止の手引き」に基づく研修を実施。身体拘束の適正化についても知識を深めた。
- ・10月20日(金)に休園し、発達障害、自閉スペクトラム症の特性、学習スタイル、冰山モデルを用いて実際に利用している子どもについて理解を深めた。また、同日、アルソックから講師を招き、AED講習会を実施した。
- ・11月嘔吐処理講習会を実施した。
- ・1月より管理栄養士が配置になり、食事に関する知識・情報の共有ができるようになった。

④ 新人、若手、中堅、ベテランと、それぞれの層やスキルにあった目標設定を徹底し、人材育成と並行し、ミスマッチによる離職防止を図る。

- ・職員を4つのチームに分け、各チームが支援について話し合える時間(担当者会議・サポート会議)を設けた。疑問や心配、不安に思うことを会議内で意見交換できるようにした。

⑤ 保護者への一斉連絡や施設の可視化

- ・キッズリー、HUGを活用し、無用の作成物等が発生しないよう努めた。

(3) 地域との連携

① ブログや Facebook、Instagram を使い、保護者のみでなく、外部への発信を積極的に行い、認知を獲得する。

- ・ ススミダスで Facebook や Instagram のアカウントは作成しなかったが、このはな保育園の Instagram に随時タグ付けしてもらうことができた。

② 非常災害対策の強化

- ・ 地震、火災、風水害等の想定される非常災害に対する具体的計画（マニュアル）を作成した。
- ・ 災害時にもサービス提供を継続するための体制を整えるため事業継続計画（BCP）を検討、策定した。今後も定期的に見直しを図る。
- ・ 毎月、避難訓練（火災・地震）を実施。
- ・ 9月12日（火）職員が水消火器による消火訓練を実施。
- ・ 11月2日（木）消防通報訓練・保護者引渡し訓練を実施。

(4) 安定した経営

① 光熱水費の節約。

- ・ 子どもの体調や活動に支障がないよう、光熱費の節約に努めた。

② 教材、教具、備品の使い方を吟味。

- ・ 購入の際は十分に吟味し、無駄な出費を抑えるよう努めた。

③ 長泉町役場（主に福祉課）と連携を取り、地域のニーズ、入退所数、入園希望者数などに関して随時情報を交換し、利用者数を維持する。

- ・ 福祉保険課、こども未来課、教育推進課、健康増進課と連携し、利用者数の維持に努めた。

【令和5年度 利用児数】

令和5年度	定員	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
		延べ人数 (人)	一日平均 (人)																								
児童発達支援	30名	492	24.6	475	23.8	583	26.5	486	24.3	450	20.5	518	25.9	534	26.7	501	25.1	515	25.8	497	26.2	512	26.9	500	26.3	6063	25.2
放課後等 デイサービス	10名	0	0	0	0	26	1.2	29	1.5	33	1.5	30	1.5	33	1.7	31	1.6	33	1.7	26	1.4	34	1.8	31	1.6	306	1.5
合計	40名	492	24.6	475	23.8	609	27.7	515	25.8	483	22	548	27.4	567	28.4	532	26.6	548	27.4	523	27.5	546	28.7	531	27.9	6369	

2. 実施した主な行事

- ・ 身体測定、避難訓練、お弁当の日を毎月実施した。

4月	6日	給食開始
5月	22日	第1回保護者面談開始(6月30日終了)
	25日	内科検診(山本先生)
8月	5日	保護者説明会
9月	12日	職員消火訓練
	25日	第2回保護者面談開始(10月27日終了)

10月	20日	休園・職員研修・施設内環境整備
11月	2日	防災引渡し訓練
2月	13日	第3回保護者個人面談開始(3月20日終了)
3月	14日	内科検診(山本先生)
	28日	卒園式
	29日	休園・新年度準備

3. 保護者(家庭)との連携

・キッズリー (連絡帳アプリ)

- ①保護者が睡眠時間、夕食、朝食の状況などを入力して提出、職員がスマートフォンで確認を行い、家庭での状況把握、情報共有ができた。各家庭にスミダスの活動、給食の状況を画像で送信しスミダスの取り組みの理解につなげることができた。家庭からの情報で個別のケアや対応が必要と感じた場合は、すぐに主任へ報告し対応することができた。
- ②行事予定を確認できるようにした。
- ③給食の献立を周知した。
- ④体調不良の際、画像とともに保護者に伝えるなど、個別的な連絡を行うことに活用できた。

・HUG (国保連請求アプリ)

- ①保護者は利用予約、実績記録票、利用請求書の確認を HUG を使って行った。
- ②保護者からの連絡事項を確認することができた。
- ③保護者による事業所自己評価の集計に HUG を用いて実施した。

4. 施設整備の補修及び器具备品の購入等

(1) 施設設備の維持補修

補修箇所	支出費	備考
訓練室	64,680円	丸窓・半透明フィルム貼り付け
	133,540円	引き戸・鍵取り付け工事
廊下	20,900円	防災・ヘルメットラック取り付け工事

(2) 物品購入

・固定資産

- | | | | |
|-------------------|---|----------|---------------------|
| ①車内置き去り安全防止装置 | 1 | 228,800円 | (うち国庫補助金等 175,000円) |
| ②厨房コンパクトフリーザー | 1 | 106,920円 | |
| ③組替ジム テンダーリトル | 1 | 170,000円 | |
| ④電子ピアノ カシオセルヴィアーノ | 1 | 132,000円 | |

・器具備品

①管理用 iPhoneSE	4台	294,800円
②防災食(ごはん、カレー、水等)	一式	166,730円
③食器・厨房器具(ボウル、食器類)	一式	135,241円
④精密体重計	1台	61,600円
⑤幼児用身長計	1台	21,824円
⑥厨房用ステンレスキッチンワゴン	1台	34,320円
⑦防災用ヘルメット・ラック	9セット	22,440円

社会福祉法人静香会令和 5 年度年度事業報告附属明細書

該当事項ありません